

【意見】

ふれあい福祉センターと勤労青少年ホームへの利用者が東西から車で通行する道路に危険を感じます。農道だったからでしょうか、カーブが多く、近年は住宅建設も進み見通しが悪くなっています。特に西側の道路にカーブの途中で道幅が狭い箇所があり、非常に危険です。直線道なら後から建築物が建っても危険が少ないですが、このまま建設が進み住民や通行量が増えると、いつか重大な事故につながりかねません。そうなる前に対策を立てていただきたくお願いいたします。特に福祉センター利用者は高齢運転手が多く、カーブ途中で行き違う時などヒヤリとすることもあります。清掃工場があることにより大型車両も通行します。

まずひとつ提案ですが、寺久保橋からすぐ西に曲がる堤防沿いの道を車が通行できるように舗装していただきたく要望いたします。インターネットの地図やカーナビのルート検索には、こちらの道路が標示されますが実際は車が通行するには無理がある状態です。

女：30代、市内在住

【回答】

ご意見にあります市道白岩線は、福祉センター、勤労青少年ホームの市有施設と沼田市外2箇村の清掃工場があり重要な幹線市道となっていますので財政状況及び優先順位等を考慮し、整備に向け研究していきたいと思っております。

また、寺久保橋からすぐ西に曲がる堤防沿いの道については、道路ではなく、群馬県が管理する1級河川薄根川の護岸堤防でありますので車の通行はできないものでありますのでご理解をお願いします。

担当：都市建設部建設課